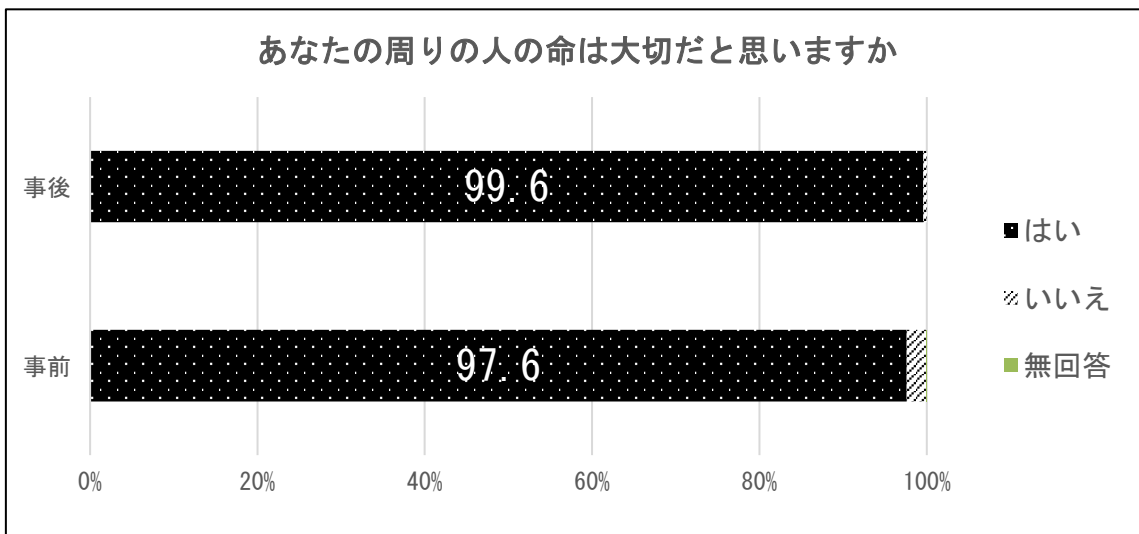
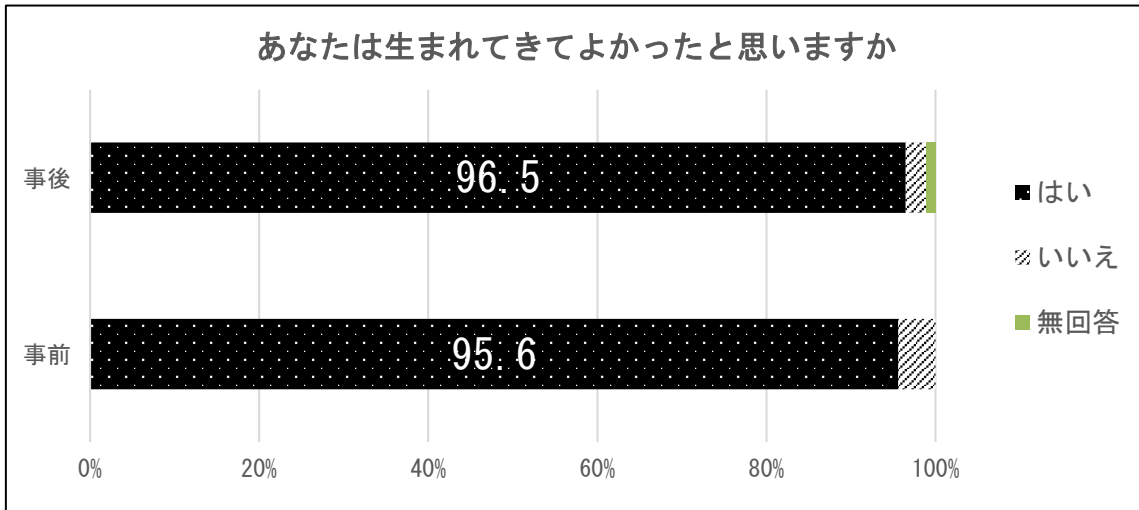
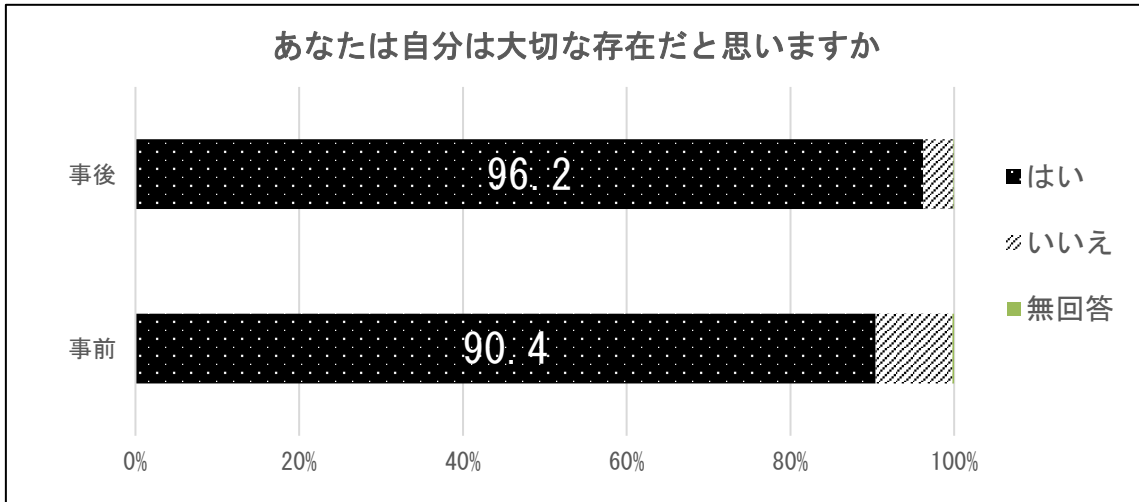


令和3年度 いのちの授業アンケート結果



## 生徒の感想

- ・自分たちの命は奇跡で、何年とかけて成長してきた体だから、自分の命を大切にしなければと思った。
- ・かわいいだけじゃなくて、大変なこともある育児のことを知れて、親への感謝の気持ちが強くなった。
- ・赤ちゃんが生まれる事、生きてることが奇跡で、自分の命だけじゃなくて、周りの人の命も大切にしたいと思った。
- ・生まれるためにたくさんの人たちが関わっていたり、苦労していることを知った。たとえこの先苦労することがあっても、この授業を思い出して頑張りたい。
- ・親視点を聞いて、口には出さないだけで自分のことを思ってくれていることが分かった。
- ・親や周りの人を悲しませるのではなく、喜ばせるようにしたい。
- ・もっと家族との時間を増やしたいと思った。
- ・どんなことがあっても、今まで自分や親が頑張ったというのは確かだ、どれもかけがえのない命だと改めて分かった。
- ・赤ちゃん人形は重かった。新しい命を誕生させるために自分が一生懸命頑張ることの大切さがよくわかった。
- ・人形の赤ちゃんでも抱っこしてみると雑に扱えないなと感じた。リモートインタビューでは自分のお母さんはどのくらい大変だったんだろうと考える機会となった。
- ・将来、赤ちゃんが欲しいだけじゃなくて、しっかりと自分に余裕ができてから赤ちゃんをつくろうと思った。
- ・リモートインタビューでお母さんが「子供の成長が励みになる」と言っていた。赤ちゃんが持っている力ってすごいなと思った。自分の親が頑張って育ててくれたことのありがたみを知った。

